

小児ワクチン接種プログラムについて（CCIDA 都市間比較）

各予防接種の回数

■義務

■推奨

赤文字：公費負担

	初回ワクチン接種年齢 (月齢)	ロタウイルス	ジフテリア	破傷風	百日咳	ポリオ	ヒブ	結核	日本脳炎	A型肝炎	B型肝炎	肺炎球菌 感染症	麻しん	おたふく風邪	風しん	水痘	HPV	髄膜炎菌	インフルエンザ	コロナ	# ワクチン 接種回数	# 疾患	# 義務 接種
ソウル	0	2-3	6	6	6	4	4	1	2-5	2	3	4	2	2	2	1	2-3	0	1-2	0	50-56	17	0
台北	0	2-3	5	5	5	5	4	1	2	2	3	3	2	2	2	2	2-3	0	1	1	49-51	18	15
バンコク	0	2-3	6	6	5	5	3	1	2	0	4-5	3	2	2	2	0	1-2	0	1	0	45-48	15	14
トムスク	0	3	7	7	5	6	3	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	18	0	75-80	19	61
東京	2	2-3	5	5	4	4	4	1	4	0	3	4	2	0	2	2	2-3	0	0	0	44-46	14	0

各予防接種の接種率

	麻しん		風しん	三種混合ワクチン		ポリオ		ヒブ	PCV	HPV		平均
	1回	2回	1回	1回	3回	1回	3回	3回	3回	女子1回	男子1回	
ソウル	96.9%	95.2%	96.9%	—	97.1%	—	97.0%	97.1%	96.9%	80.3%	—	94.7%
台北	98.9%	98.4%	99.0%	99.5%	99.1%	99.5%	99.1%	99.1%	96.3%	87.9%	81.0%	96.2%
バンコク	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
トムスク	96.0%	95.0%	96.1%	97.0%	96.6%	97.0%	95.8%	95.0%	96.8%	4.0%	0.0%	87.0%
東京	94.5%	90.4%	94.5%	94.6%	94.6%	94.6%	94.6%	96.6%	99.2%	14.7%	—	91.0%

■ 90%~

■ 80%~

■ 70%~

■ 50%以下

ワクチン接種に伴う副反応の対策

都市	対応内容
ソウル	<p>韓国政府は、ワクチン接種後の有害事象に対する「国家補償制度」を国家予防接種プログラムに導入しています。このシステムは医療費の補償や、ワクチン接種による障害や死亡に対する一括支払いを提供します。</p>
台北	<p>1. ワクチン接種後の即時観察および管理: (1) 現場観察: 極めて稀な重度のアレルギー反応の発生を防ぐため、接種後は接種会場に留まり、少なくとも15分間は休息と観察を受けなければなりません(高リスクグループやアレルギー歴のある方は観察時間を30分延長することがあります)。重度のアレルギー反応を起こした場合は、直ちにアナフィラキシーの治療が行われます。 (2) 緊急準備: すべてのワクチン接種拠点は、エピネフリンなどの緊急機器をすぐに備え、緊急搬送プロトコルを確立することが求められます。</p> <p>2. 一般的な軽度の副反応に対する健康教育と緩和: (1) 注射部位の赤み、腫れ、痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、軽い発熱($\geq 38^{\circ}\text{C}$)は免疫系の正常な反応です。これらの軽い部位の症状は通常、数日または48時間以内に消えます。 (2) 十分な水分を摂り、休息を取ることが推奨されます。発熱などの不快感には、医師の指示により解熱薬や鎮痛薬が服用されることがあります。</p> <p>3. 重篤な副反応に対する医療的配慮と報告メカニズム: (1) 積極的な医療受診: 発熱が48時間以上続く場合や、重度のアレルギー反応(例: 呼吸困難、喘鳴、めまい、速拍、全身発疹など)が起こった場合は、速やかに医療機関を受診し、ワクチン接種歴と注射日程を医師に積極的に伝えるべきです。 (2) VAERS報告: 医療施設や保健局が予防接種後に疑わしい重篤な有害事象(AEFI)を特定した場合、それをワクチン有害事象報告システム(VAERS)に積極的に報告し、その後の安全信号の検出と調査を行います。 (3) 追跡とケア: 報告を受け取った後、保健局は症例のフォローアップケアを開始し、法的手続きを通じてワクチン傷害補償プログラム(VICP)への申請を支援します。</p>
バンコク	<p>保健センターには、アンブバッグ、酸素マスク、生理食塩水付きの点滴セット、アドレナリン、気管内チューブ、喉頭鏡などの基本的な緊急蘇生機器が整備されています。ワクチン接種後、接種後少なくとも30分間は即時の有害反応の有無を監視します。重篤な反応が起きた場合、15分以内に上位施設へ患者を移送できる紹介システムが整備されています。</p> <p>AEFI監視は、保健省疾病管理局疫学部門のガイドラインに従って実施されています。疑わしい有害事象は、疾病管理局疫学部門に提出するために、AEFI1報告フォームを使用してBMA感染症局に報告しなければなりません。</p>
トムスク	<p>ワクチン接種後の合併症が発生した場合の市民への社会的支援</p>
東京	<p>日本には、副反応疑いが発生した場合、医師が国に報告する制度があります。また、重い症状が出て障害認定された場合や死亡した場合は、自治体から給付金が出ます。東京都は、新型コロナワクチンの副反応相談センターを設置し、看護師など医療職による助言を行っています。さらに、医療の専門窓口を設け、医療機関向けの助言を行っています。</p>

◇誤情報や偽情報等の拡散などSNS対策

都市名	対応内容
ソウル	<p>韓国政府は、誤情報に対抗し公衆衛生を守るため、学術団体や関連する民間団体との協力を強化しています。この動きはまだ具体的な行動に結びついていませんが、関係者間で共通の認識を共有し、この問題に対する将来の方向性を示しています。現在のアプローチは、多様なチャネルを通じて正しい情報を広め、誤情報に対して直接かつ迅速に対応するなど、従来型です。</p>
台北	<p>包括的かつ統合的なコミュニケーションアプローチを確保するために、以下の戦略が実施されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般の方へ: プレスリリース、メディアブリーフィング、医療機関内でのポスターや電子ティッカー(LED表示)の掲示を通じて、正確な健康教育を提供すること。 2. メディア監視と事実確認: 疾病予防に関するメディア報道を継続的に監視し、誤情報や誤情報の即時の明確化と訂正を確保します。 3. 医療従事者向け: 最新の臨床ガイドラインや最新情報を提供し、最前線の医療スタッフが予防接種を積極的に推進できるよう支援すること。 4. ステークホルダーとの関わり: コミュニティリーダー(村や近隣の長)、民間企業、関連関係者と積極的に協力し、アウトリーチとアドボカシーの効果を高める。 5. 新しいメディアとデジタルチャネル: インターネット(ソーシャルメディア、ブログ)とSMSメッセージを活用し、多様なコミュニケーションチャネルを構築し、透明でリアルタイムかつ多面的なワクチン情報システムを構築する。
バンコク	<p>これらの措置は、情報源の信頼性の検証と、信頼できる権威からの正確で証拠に基づく情報の発信に焦点を当てています。また、公共のデジタルリテラシーの向上やワクチン接種の重要性の啓発も目的としており、ソーシャルメディア上で拡散する誤情報やフェイクニュースに対抗する助けとなります。</p>
トムスク	<p>信頼できるワクチン情報の普及。誤った情報に反論する情報資料を作成し、啓発イベントを開催する。例えば、以下のような活動を行う。</p> <p>学校、ソーシャルネットワーク、患者コミュニティにおいて、子どもたちの重篤な感染症予防におけるワクチン接種の重要性に関する啓発キャンペーンを実施する。</p> <p>コミュニケーションプラットフォーム(ソーシャルネットワーク、ウェブサイト、インスタントメッセージなど)を活用して、ワクチンに関する情報を発信し、誤った情報に反論する。</p> <p>ワクチンの安全性と有効性に関する情報冊子、および誤った情報への反論集を作成する。</p> <p>ワクチン未接種者の罹患事例に基づいた映画の制作・配布を行う。特に若者と高齢者を対象に、批判的思考力と情報源の検証能力(OSCE)を育成する。</p>
東京	<p>日頃から、ホームページやLINEなどのSNSを通じて、正しい情報を発信するよう心がけています。</p> <p>また、SNSによる誤情報・偽情報等の拡散対策については、リスコミの専門家を招いてご指導をいただいています。</p> <p>今後は、国として誤情報・偽情報への対策を打つよう、要望していく予定です。</p>